



とき 令和七年三月九日（日）

十二時半開場 十三時開会

ところ 梅若能楽学院会館

〒一六四一〇〇〇三

東京都中野区東中野二一六一四

J R 総武線・地下鉄大江戸線 東中野駅より徒歩8分
地下鉄丸ノ内線・大江戸線 中野坂上駅より徒歩8分

第二回（令和六年度）

全国少壮吟詠家選考審査会

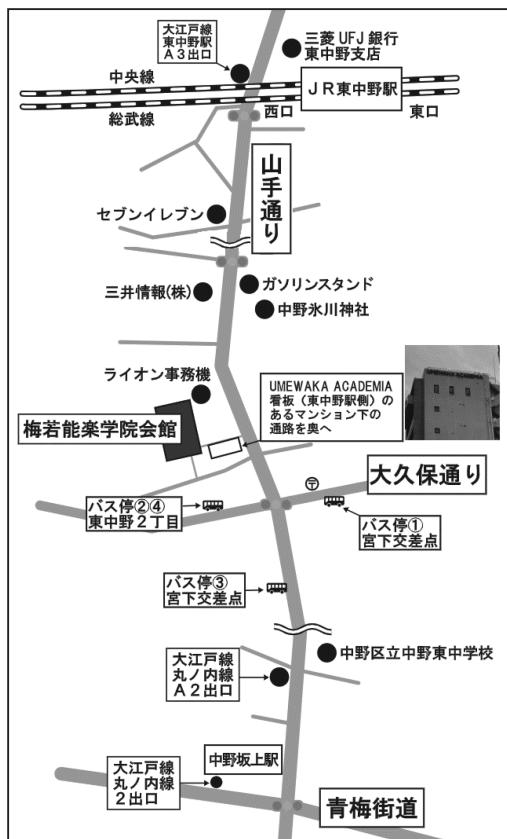
主催 公益財団法人日本吟劍詩舞振興会

来聴歓迎・入場無料

Supported by

THE NIPPON FOUNDATION

梅若能楽学院会館案内図



大会次第

- 一、一般審査用吟題抽選
- 一、開会の辞
- 一、国歌斎唱
- 一、財団会詩合吟
- 一、財団代表挨拶
- 一、大会実施要項説明
- 一、審査員紹介
- 一、競吟
- 一、審査結果発表並びに入選者表彰
- 一、閉会の辞

第一回全国少壮吟詠家選考審査会開催にあたつて

よりいっそつの

吟道振興を



公益財団法人 日本吟劍詩舞振興会

会長 沼崎 富

優れた少壮吟詠家選出を目的としたものであり、吟詠の芸術的向上を図ると共に、吟劍詩舞道界の将来を担う人材を育成するために設けられた制度であります。

出場者の皆様方には、日頃の精進の成果を十分発揮され、優秀な成績を収められますよう希望致します。そして、ご来場の皆様方には、芸術的・音楽的に進歩した吟詠の今日像を正しくご理解頂き、お一人でも多くの方が斯道に親しんで頂けますよう期待致しております。

終わりに、皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げまして、私の挨拶と致します。

昭和四十七年以来、半世紀にわたり実施して参りました「全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会」は、入選者の中から数多くの名吟家を輩出してきましたが、社会情勢の変動等により年々挑戦者の減少傾向が顕著となり、予選大会が開催出来ない状況が続いておりました。

そのような事から当該の検討委員会を立ち上げ、議論を重ね、理事会・評議員会に於いて協議して参りました結果、従来のコンクールにつきましては、令和四年度の第五十回大会を最後とし、新たに令和五年度からは、「全国少壮吟詠家選考審査会」との名称とし、実施することと致しました。これまでの審査方式とは異なり、新たに面接や研修会を経て、挑戦者の人となりや技量を見極め、総合的に合否の判断を下す制度と致しました。

この選考審査会は、日頃の研鑽を競う場であると同時に

公益財団法人 日本吟劍詩舞振興会会詩

笹川良一作

朝に吟じ夕べに舞うて心身を練り
礼節持し来つて互いに真を養う
世界は一家皆我が友
願わくは斯道を興して人倫を正さん

第二回 全国少壮吟詠家選考審査会大会役員

大会会長
大会副会長

大会実行委員

藤上	池内	早淵	徳田	沼崎
翔山	賢二	鯉寿		
			將風	富
安田	吉田			
水鈴	魁桜			
入倉	河野			
昭星	鶴聲			

審查委員

○審査委員長
特別審査委員
審査委員

◎ 大会特別顧問

田中	多田	山路	廣重	益中	小幡
岳藤	正満	泰洲	光風	鵬山	神叡
山口	八文字	多田	日置	前島	藤原
華雋	剛洲	横山	彩峰	昊龍	攝南
横山	安永	寿城	杉浦	野中	矢萩
精真	江悠	山内	正風	秀鳳	鳳祥
青柳	芳寿朗	向山	小野光翠扇	八代	武田 祐洲
芳寿朗	俊吟	侑吟	輝靈		

八県連代表

菊川八千穂
高橋一誠
黒田秀月
清水錦洲
飯田報信
北瀬岳櫻
吉田觀心

高田 宍戸 齋藤

龍明 岳莊 心晃 靜精 晃楓 皇洲 靜將

高橋 野村 池田 田中 白井 山本 山口

岳粹瑞祥嶺煌國臣寬洲演志雋華

渡辺 堀口 松澤 小松 石井 上田 館岡

奧鵬 岳美 桃苑 獅劍 天楓 孝心 紘山

◎ 大会参与

大會參与
星野山本兼正
田中洲虹
鈴木竜真
菱谷啓仙
阿部吟鳳
高橋彩佑
栗野瑞祥
寺山精磼
奧村天洲
熊木雪洲

黒田秀月
佐々木翠鵬
飛田野神藍
石川春洋
小林北鵬
甕
麻生
鈴木
山下
木村
凰鶴
神燈
海洲

後藤上久

月戈
休雪女
伯峯
紫虹
凰映
南尚
吟煌
正峰
昊苑

齋木 石井 永松 塚志 賢勝

彩染 桃苑 悠楓 心將 吼嶺 川冽風 靜精 独風 岳章 嶺煌

○吟	○詩文監査	○司	○受	○舞台進行	○計	○総務・庶務委員長	○資材管理	○会員登録	○運営委員
同題	同会	同付	同時	同長	同員	同員長	同員長	同員長	同員長
副委員長	副委員長	委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長
石川	伊藤	加藤	佐々木	大山	田中	郡司	土澤	宇井	斎木
春海	契麗	契琵	翠鵬	宗鵬	國臣	明風	美岳	桃苑	修光

(兼務)

芳倉	佐藤	翔風	清峰
原田	伊藤	瑞祥	
日向美代峰	翠鳳		
吉本	藤本	柿内	中林
			藤上
			涼風
	誠翠	岳正	翔山
			河野
			德田
			齋山
			高木
			松井
			法洲
			松聲
			洗靈
			侑吟

○音響記録	○集計	○協力	さんしやいん社
○大会本部	○会場	○賞典	
業務課員	事務局長	委員長	
総務課員	事務課長	委員長	
事務課員	事務局長	委員長	
事務課員	事務課長	委員長	
堤森谷	大塚大田	野上木屋	迫石井
由美文子	政暢直樹	吟鴻萩優	翔豪嶺亮

星野	林	湯口	さんしやいん社
星野	星野	大塚	
西岡	西岡	政暢	
紫旭	紫旭	岳政	
煌彩	煌彩		
紫栄	紫栄		
湯口	湯口		
大塚	大塚		
政暢	政暢		
岳政	岳政		

全国少壮吟詠家選考審査会 実施要項

- (1) この審査会は、公益財団法人日本吟劍詩舞振興会（以下財団と呼ぶ）が実施するもので、全国の少壮吟詠家を目指す者の選抜と研修及び審査を行う場とし、吟詠の芸術的向上を図り、あわせて吟劍詩舞道の普及振興に資することを目的に行うものである。
- (2) この審査会の参加資格は、財団加盟の各団体・各流・各会派所属の吟詠家で吟歴七年以上、指導歴三年以上の経験を有する者。また年齢が令和六年四月一日現在、満三十歳以上五十五歳以下で、会長以上の責任者の推薦を受けた者、あわせて次のいずれかの資格を満たすことをその条件とする
- ・過去の全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会入選者
 - ・財団主催の全国吟詠コンクール「青年の部」及び「一般一部」の上位入選者（一位から五位（過去の年度は問わない））
 - ・その他、特出した吟詠活動を行っていると認められる者
- (3) この審査会に参加を希望する者は、財団が行う書類審査に応募し、その中から選ばれた者が少壮吟士准候補（以下「同準候補」）選抜試験（選考会）に進むことが出来る。
- (4) 同準候補選抜試験は、個人面接と実技（受験者が得意とする絶句一題をその場で吟じる）によって行われる。
- (5) 同準候補の定員は二十名以内を上限とする。
- (6) 同準候補となつた者は、少壮吟士候補になるまで、一年に一度開催される研修（研修会）の受講と、同じく年に一度開催される審査（審査会）に計三度合格することが求められる。ただし過去の全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会入選経験者はその限りではなく、一回入選者は一回の合格、一回入選者は一回の合格で少壮吟士候補と認められる。
- (7) 同準候補は、一年の内の研修及び審査のいずれを欠いても不合格とする。

とする。

令和六年度全国少壮吟詠家選考審査会 審査会実施要項

- (1) この審査会は財団本部が主催し、その運営は全国大会実行委員会が担当して次の審査要領によつて実施する。
- (2) 審査委員は原則として財団役員と邦楽専門家によって構成され、財団本部理事会で決定する。
- (3) 一般審査において、同準候補は課題曲十五題の中から抽選で選択した一題（以下「抽選曲」と）と、自ら選ぶ曲一題（以下「選択曲」）の計二題を吟じる。
- (4) 出吟順は、厳正公平な抽選で決定した審査会プログラム順の順番どおりに行い、まず抽選曲を一巡した後、選択曲を同じ順番で一巡する。
- (5) 抽選曲の決定方法を次の通り定める。
- 封筒十五通を一組とし、この封筒の中に課題曲十五題のうちの一曲の詩文六枚ずつを入れておく。
 - 出吟者は十五人区切りで区分し、出場順の若いほうから抽選する。

c. 出吟者は六枚の詩文に出吟番号、氏名、音階及び曲目（音階及び曲目の記入は一枚のみ）を書き込み、吟題委員長に提出、

吟題委員長は確認印を押し、一枚を司会一枚を音響（音階及び曲目記入分）、一枚を詩文監査、二枚を発音審査委員に提出、一枚を出吟者に渡す。（出吟中この詩文を見て吟じてよい）音階は、あらかじめ届け出たものとし、当日の変更是認められない。

d. 吟題委員は別に出吟者詩文原簿を作成する。

e. 抽選は、開会式前に公開で行う。

(木) 選択曲については、財団刊行の「吟剣詩舞道漢詩集 絶句編」および「吟剣詩舞道漢詩集 続絶句編」掲載の中から得意なものを一題選択する。ただし「全国少壮吟詠家選考審査会」一般審査指定吟題十五題からの選択はできない。

(火) 選択曲については、音階及び曲目と共にあらかじめ財団に届け出たものとし、当日の変更は認められない。また詩文を見ながら吟じることは許されない。

(ト) 吟じ方は、まず司会者が出場者の番号・氏名・吟題を紹介し、出場者は財団指定の「吟剣詩舞道伴奏集」の前奏を確認して吟じ始める。吟題は言わず、出吟前後の敬礼は省略する。

(チ) 吟詠時間は吟じ始めてから一分以内に吟じ終るものとする。

(リ) 次の場合は失格とする。

a. 出吟までに吟題決定の手続きを行わなかつた場合。

b. 出番のときいなかつた場合。

c. 課題吟以外のものを吟じた場合。

d. 詩文の読みが指定されたものと異なつた場合。

e. 吟詠の途中で絶句（つかえること）した場合。

f. 吟じ始めてから二分を超えた報せのベルが鳴つた場合。

g. その他、審査委員長が失格と認めた場合。

(又) 成績の判定は「吟詠コンクール審査規定」（日吟振内規）によるものとし、発声（声質、技術）、調和、発音、詩心、態度の五項目とし、得点の多い者を上位者とする。同点の場合審査委員長（または委員長代行）の得点が多い者を上位とする。審査委員長（代

行）の得点も同点の場合は、審査員のプログラム掲載順列順に、上位の審査員の得点が多い者を上位とする。

(ル) 審査の採点は次の各項にウエイトをおいて行う。

a. 声の美しさ、品性、渋さなどとともに、発声の自然さ、声量の豊かさ、声の明瞭さ、節回しのよさがあるかどうか。

b. 伴奏曲と調和（音程を含む）しているかどうか。

c. 共通語アクセント（わたりを含む）及びガ行鼻音が正確かどうか。

d. 詩情表現の的確さ、味があるかどうか。

e. 舞台マナー、吟詠マナー、社会人としてのエチケットが備わっているかどうか。

(2) 合格者は審査終了後、審査委員会議で決定され、その発表は一般審査

の終了後に行われる。

(3) 特別審査等規定を次のとおり定める。

(イ) すでに二回合格している人は、一般審査での成績が上位の場合は、一般審査終了後に行われる特別審査に出席する。

(ロ) 特別審査の吟題は律詩課題制とし、出場者吟詠終了後、直ちに行われる五人単位の抽選によつて決められたものを吟じるものとする。特別審査は詩文を見て吟じてもよい。

(ハ) 特別審査出場者のうち、特別審査で一定の基準以上の成績を収めた人は合格とし、少壮吟士候補として推薦される。

(二) 特別審査出場者のうち、特別審査で一定の基準以上の成績を収めることができなかつた人は、合格者とみなされない。

(4) 審査会参加者の特典を次のとおり定める。

(イ) 合格者は大会当日会場で審査会合格者として表彰し、次年度に行われる各種全国大会への出演者に推薦される。

(ロ) 少壮吟士候補として推薦された人は、別に定める資格審査を経たのち、全国吟剣詩舞道大会の式典において少壮吟士として認定、表彰される。

〔注意〕

一、詩文の読み方は財団発行の『吟劍詩舞道漢詩集』に、また詩文のアクセントは財団発行の『吟劍詩舞道アクセント付き漢詩集』によります。

- 二、出場者が、抽選用詩文用紙以外の詩文を見ながら吟じる場合、用紙の大きさは、はがき大とします。
- 三、成績発表並びに賞状授与の時に不在の人は失格となります。
- 四、本コンクールにおいて財団が撮影した写真や映像については、財団が発行する雑誌、公式ホームページ及びテレビ放映などにて使用する場合があります。

予告

●令和七年度夏季吟道大学

▽とき 令和七年七月十二日（土）

（十三日（日）

▽ところ 勤労青少年水上スポーツセンター

（愛知県・碧南市）

●第五十五回全国吟劍詩舞道大会
▽とき 令和七年十一月十一日（火）
▽ところ 日本武道館（東京都・千代田区）

令和六年度全国少壮吟詠家選考審査会
一般審査指定吟題

【少壮審査会】

① 河内路上
② 花朝灘江を下る

漫述

富嶽

蜀中九日

黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る

折楊柳

烏江亭に題す

応制天の橋立

石鎚山

母を奉じて嵐山に遊ぶ

舟八島を過ぐ

山房春事

己亥の歳

梅花

母を奉じて嵐山に遊ぶ

【少壮審査会・特別審査】

① 九月十五夜

筑前城下の作

大楠公

⑤ ④ ③ ② ①
帰省
山中の月

（菊池溪琴）
（藤井竹外）
（佐久間象山）
（乃木希典）
（王勃）
（季白）
（楊巨源）
（杜牧）
（晁希世）
（海量法師）
（頼山陽）
（正岡子規）
（岑参）
（曹松）
（王安石）

（菅原道真）
（廣瀬淡窓）
（河野天籟）
（狄仁傑）
（眞山民）

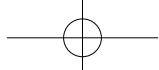
全国少壮吟詠家審査制度
() 内数字は入選回

三回入選者一六一名

渡辺ヨリ子(10)(8)	中嶋ヨリ子(17)(10)	木村初子(6)(3)	樋口捷一(2)	佐々木貢二(3)	長岡久政秋(3)
木村恒成(1)	山中眞理子(42)(44)	和田圭一(43)(38)	巽育香(45)(47)	前田正博(31)(33)	辻本圭子(41)(43)
樋口関口(1)	浅田圭子(43)(39)	和田正美(31)(36)	美代子(31)(35)	成田真秀子(37)(39)	米本敬子(35)(37)
樋口利彦(1)	山中眞理子(33)(36)	和田博(28)(32)	百合子(34)(36)	辻本京子(31)(32)	中野民子(30)(32)
大木弘泰(1)	中野弘泰(19)(22)	和田正美(26)(31)	香川京子(28)(32)	中野民子(19)(22)	奥村与一(19)(21)
若原将昭(1)	奥村剛(15)(16)	和田正美(19)(21)	香川京子(21)(23)	奥村剛(15)(16)	田畠一子(11)(12)
久住久恵(1)	田畠一子(10)(11)	和田正美(21)(23)	香川京子(21)(23)	池田京子(10)(11)	山本弘泰(9)(10)
大木利彦(1)	田畠一子(6)(7)	和田正美(16)(17)	香川京子(16)(17)	池田京子(12)(13)	金戸愛(6)(7)
佐々木貢二(1)	大木利彦(7)(8)	和田正美(12)(13)	香川京子(13)(14)	池田京子(11)(12)	大木利彦(5)(6)
小林久(1)	大木利彦(11)(12)	和田正美(14)(15)	香川京子(14)(15)	奥村剛(11)(12)	佐々木貢二(1)(2)

長谷本延藤　玉方　中尾　志塚　阿部
 海老澤元孝　瀬戸喜久子　工藤　菅　菅　志塚
 欽宗　克久　友一　巖
 稲葉　利氣恵　信義　信義
 奥山阿佐子　宇井　矢田　有森　有森
 府川有紀子　大澤　勝利　伊藤美智子　菅
 葉子　久絵　画子　伊藤美智子　菅
 早苗　洋和　三枝　勝利　菅
 志帆　詔子　画子　伊藤美智子　菅
 (43)(44)(43)(40)(38)(37)(34)(33)(29)(21)(25)(9)(14)(12)(13)(5)(7)(5)(5)(4)(2)(2)(1)
 (44)(45)(44)(42)(40)(38)(35)(34)(31)(22)(26)(22)(16)(15)(14)(6)(9)(6)(6)(5)(3)(3)(2)
 (50)(48)(45)(43)(41)(39)(37)(35)(32)(31)(28)(25)(23)(20)(16)(13)(11)(9)(8)(7)(6)(4)(3)

高橋秀平	木村藤原美知子	杉山辰巳	横山沼田	鈴木昌巳
太田関口	平野牛島中野	時田山岡後藤	梶田松野	広子弘子
法男	千草美和	土澤なぎさ	早苗勝美	昌徳寿宏
加藤佐喜子	理恵	貴子憲子	幸男出子	益定治
太田保英	青木加代子	佐々木康人	(18)(25)	(1)(4)(3)(4)(2)(1)
(14)(15)(6)(2)	(42)(46)(43)(39)(40)(37)(32)(34)(32)	(18)(25)(20)	(8)(1)(4)(3)(4)(2)(1)	
(19)(16)(10)(4)	(35)(33)(27)(28)(21)(23)	(16)(11)(17)(12)(11)(2)(7)(4)(5)(3)(2)		
	(36)(34)(32)(29)(27)(24)	(20)(17)(12)(11)(2)(7)(4)(5)(3)(2)		
	(38)	(21)(18)(14)(12)(10)(9)(7)(6)(5)(3)		
	(49)(47)(45)(42)(40)	(27)		
	(49)	(24)		



一回入選者 五名

飯森福太郎 平形 豊満 多々良 朝倉 富治 亨
栗田 石田 坂本 田村 盛滿 大島 鈴木 西原 岡林 神賀 松崎 柳内 園山 緑川 山本 阿部 植田 そのみ 香織 優子 義則 裕視 純子 真弓 哲夫 順子 玲子 一孝 明子 圓子 順子 都子 芳男 刚剛 晴信 亨 (50)(46)(43)(39)(37)(32)(30)(28)(26)(24)(20)(17)(15)(12)(10)(8)(6)(5)(4)(3)(1)(1)

今井	甲斐	佐藤	佐藤
岩城	中筋	喜知子	弘子
美津子	和子	功	明久
(44)	(38)	(23)	(13)
(45)	(40)	(27)	(19)
	(33)	(22)	
	(30)	(24)	
		(23)	
		(23)	

山本 三好 鈴木 琳子 紀夫
町田 敏子 恵子 佐々木敏郎
大川 久和かず子 進一 行男 稔
田中 一色 弘光 博美 敏子
太西 岩間 永渕 板谷加代子
為房 みどり 正一 博美
為房 みどり 久子 (17)(15)(12)(10)(8)(6)(5)(4)(3)(2)(1)
久和かず子 進一 行男 稔
一色 弘光 博美 敏子
太西 岩間 永渕 板谷加代子
為房 みどり 正一 博美
久子 (17)(15)(12)(10)(8)(6)(5)(4)(3)(2)(1)

中川 久保 堀井 田原 宮崎 尾牛 南方 村梅
千鶴 義嗣 良美 初子 瑞枝 明栄 佳代
(19) (16) (18) (18) (24) (27) (31) (28) (37) (45)
(19) (23) (25) (25) (29) (33) (36) (41) (46)

長屋 松坂比呂志 幸吉
吉田 斎藤喜八郎 佳子
日置 清水口晴子
安部 後藤 则男
安部 金子今朝美 (4)
村上 早瀬 (5)
舛田 功二 (3)
村勘 (2)
大野 金子今朝美 (1)
小坂 森田 (2)
赤塚 竹内 (1)
高橋 安部 (2)
荒崎 大野 (1)
春奈 惠子 (47)
善夫 悅子 (44)
友二 芳子 (40)
廣美 智子 (38)
(鑑) (34)
(40) (30)
(29) (27)
(24) (21)
(18) (15)
(13) (11)
(11) (8)
(6) (5)
(4) (3)
(2) (1)

入江 敏子 黒田せつ子 湯本
森本三恵子 忠夫 小川美登里 小川
村山 登里 (22) (17) (20) (27)
井川 (24) (19) (26) (28) (33) (37) (42) (46)
竹内 良得 彩 (34) (38) (39) (45)

森川祐喜・竹内喜八郎・小林千弘・正野初代・樋口康子・渡辺晴美・藤原幸美・綿谷未由子(50)(40)(35)(30)(28)(20)(23)(15)(21)(12)(37)(34)(29)(26)(21)(20)

井口 池川 佐藤 佐下 森 元岡 佐々木 小谷 佐原三喜雄 集德 專一 猛義信 恵弘
中西 吉本 横谷 久美子 古賀千恵子 黒柳 谷崎 池田 宮本 小坂 大山 西村 淳子 幸良 康子 俊明 由乃 乃
太田 桶谷 本吉 横本 久綾 石井 町子 貞子 次男 由乃 由
武志 光恵 麻美 美子 (49) (46) (40) (38) (35) (30) (29) (28) (26) (23) (18) (16) (14) (11) (9) (7) (5) (4) (3) (3) (1)
(4) (1)

小野為國奥津岡藤佐村田津田千夏三幸慶子冴子公男馨真理
(41)(34)(25)(30)(22)(18)(20)
(43)(38)(34)(31)(26)(21)(21)

伊藤ひさ子 長峰 本田 高山 山本 笠原 昭弘 正彦 昭康子 (1) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50)

平田 矢野 北浦 胡中 清水 昌子 宏子 緑 泰三 公三
春藤薫於里 甫守美和子 (42) (37) (32) (30) (23) (14) (16)
(43) (39) (35) (31) (26) (24) (21)

幸田 勝弘 石本 今朝幸 米谷さつき 葉林 瞳朗 佐藤美智子 中山 駿一
井戸 仲宗根 赤松 吉田 稲川しげ子 橋本 光浩 貴守 節 森田 和子 嶋田智恵子 松本 染田 藤岡 静江 恒夫 恭次 浩有
隆裕 由紀 香 博 (50) (46) (41) (39) (36) (32) (30) (28) (26) (24) (19) (17) (15) (12) (10) (8) (6) (4) (4) (3) (1)

藤本佐喜子 福島 弘子
北村 孝子 中谷 紀子 古賀美智子
瀧下 和雄 藤井 真美 (43) (37) (29) (20) (25) (23) (20)
藤井 真美 (45) (20) (26) (22) (27) (21) (21)

◆審査会出場者

※抽選曲・選択曲ともプログラム掲載の順番にて実施する。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	出 順	氏 名	流・ 会派名
林田 麻由	荒崎 春奈	中西 光恵	辻 寛子	井戸 隆裕	梅田めぐみ	太田 武志	徳安 秀作	甫守美和子	日本吟声流		
淡窓伝光靈流日本詩道会	紫虹流吟劍詩舞会	紫洲流日本明吟会	岳精流日本吟院	詩道楠水吟詠会	淡窓伝光靈流日本詩道会	日本修道流吟詠会	関西吟詩文化協会緑扇会				
大分	神奈川	兵庫	神奈川	大阪	大分	千葉	福岡	福岡	推薦		
1回	1回	1回	1回	1回		1回	1回	2回	入選		
									成績		

17	16	15	14	13	12	11	10	出 順	氏 名	流・ 会派名
吉田あゆみ	荒崎有紀江	原 奈緒子	綿谷未由子	七五三聖子	土方 圭秀	桶谷 麻美	吉澤 純子	契秀流吟詠会		
淡窓伝光靈流日本詩道会	紫虹流吟劍詩舞会	奉観流詩吟道	吟道閑心流	吟道壇楠流総本部	昊陽流吟詠会総本部	日本詩吟学院富山桜吟会				
大分	神奈川	三重	三重	兵庫	東京	富山	東京	推薦		
1回	1回		2回			1回	1回	入選		
								成績		